

減災力の強いまちづくり シリーズ⑥

～自分の命は自分で守ることが第一歩～

台風 24 号 市内各所で大きな被害

9月30日(日)夜～10月1日(月)未明、強い勢力を保ったまま山梨県に最接近した台風24号は、激しい風雨を伴い市内全域に大きな被害をもたらし、河川、市道、農道、農地などの被害状況は、近年にない規模に至っています。

一日も早い復旧を目指し、取り組んでいます。

気象情報 <総雨量> 171.5mm (9月29日午前10時～10月1日午前3時まで)
<最大瞬間風速> 24.7 m (観測史上第2位)

甲府地方気象台大泉観測地点

<主な被害状況>



鳩川沿いの農道が一部崩落



鳩川にかかる市道の逸見原橋が落下



武川町地内の林道の法面崩落



鳩川沿いの水田が流失



小淵沢町白樺平分譲地に接続する道路が崩壊



大泉町地内の林道が洗掘



市内の各所で用水の取水口が損壊



稲刈り間際の水田の畦畔が崩壊

行政の対応

- 9月27日(休)から災害対策本部員会議を設置し、警戒に当たり、9月30日(日)午後1時30分頃から順次自主的避難場所を各総合支所に開設するとともに、緊急配備体制を整えました。
- 長坂町と高根町で道路の寸断等により孤立した方に対し、県防災ヘリコプターによる救助が行われました。市でも各部局が連携する中、早期の対応に努めていますが、行政だけの力には限りがあることを、改めて感じました。

今すぐできる家庭の減災

災害はいつでもどこでも起こりうるものです。今回の台風でも、日頃の備えや災害発生時の被害をできるだけ減らす「減災」に取り組む必要性を改めて感じました。

「減災」は自分の身を守ること(自助)から始まります。自助ができれば周りの人を助けられる(共助)よう、日頃からの声かけが大切です。

各家庭で今すぐできる減災の代表的な12項目

| NO | 項目 | 内容 |
|----|-----------------|-----------------------------|
| 1 | 家族で話し合い | 平時から、家族で緊急時の連絡方法等を話し合っておく |
| 2 | 家族の初動規定の整備 | 家族内の初動規定を作成しておく |
| 3 | 家具類転倒・移動・落下防止対策 | 家具や電気器具等の転倒、移動や落下を防ぐ対策 |
| 4 | 暗闇対策 | 夜間停電時のケガを防ぎ、安全に避難できる対策 |
| 5 | 避難経路の確保 | 家の内外の避難経路を決めて安全に移動できる対策 |
| 6 | 頭部・足元の保護 | 頭と足にケガをしない対策 |
| 7 | ガラスの飛散防止 | 窓ガラスや食器棚などにフィルムを貼り飛散防止対策 |
| 8 | 建物の耐震化(補助制度有) | 震度7規模の激震に耐えられる建物倒壊防止対策 |
| 9 | 備蓄品の充実 | 水や食料等の家庭内の備蓄(目安は7日分) |
| 10 | 緊急時持ち出し品の整備 | 避難経路、倉庫、車のトランク等に最小限の持ち出しを準備 |
| 11 | 携帯電話必携 | 情報収集等の対策 |
| 12 | 緊急時連絡名簿の整備 | 親戚や知人の連絡簿の作成 |

特定非営利活動法人減災ネットやまなし資料提供

地域課 TEL 42-1362 FAX 42-2235